

蓬田村第2期
データヘルス計画
(平成30年度～平成35年度)

平成30年3月
蓬田村

目次

第1章 計画策定にあたって	3
1 計画策定の背景及び目的	3
2 計画の位置付け	3
3 計画期間	3
4 計画のデータ取得方法	4
第2章 地域の健康課題	7
1 地域特性と健康実態	7
(1) 人口の状況	7
(2) 寿命と死亡の状況	8
(3) 国民健康保険被保険者の状況	9
2 医療の分析	10
(1) 医科・歯科受診率の状況	10
(2) 医療費の状況	10
(3) 生活習慣病等の分析	13
3 介護の分析	17
(1) 要支援・要介護認定者の状況	17
(2) 要支援・要介護認定者の有病状況	18
(3) 要介護認定者と医療費の関係	18
4 特定健康診査の分析	19
(1) 特定健診の受診状況	19
(2) 特定健診の問診結果からみた生活習慣の状況	21
(3) 特定健診結果の状況	22
(4) 特定保健指導の状況	25
5 保健事業実施状況（平成28年度実績）	26
(1) 特定健康診査関係	26
(2) 特定保健指導の実施状況	26
(3) 各種がん検診の状況（健康増進事業分）	26
(4) 骨粗鬆症検診の状況	28
(5) 集団健康教育関係（40～64歳）	28
(6) 健康相談事業	29
6 分析結果に基づく健康課題	30
第3章 計画の目的・目標設定	33
1 目的	33
2 目標	33
(1) 長期・中期目標	33
(2) 短期目標	33
(3) 目標の評価方法	34

第4章 保健事業の実施内容	37
1 各種健（検）診受診率・精密検査受診率・特定保健指導実施率の向上	37
2 生活習慣改善の普及啓発	37
3 医療費適正化対策	38
4 地域包括ケアシステムに係る取組	38
第5章 計画の推進・評価・見直し等	41
1 計画の公表・周知	41
2 計画の推進体制	41
3 計画の評価	41
4 個人情報の保護	42
5 その他計画策定にあたっての留意事項	42

第1章 計画策定にあたって

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の背景及び目的

「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、平成 20 年度から医療保険者にメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した特定健康診査（以下「特定健診」という。）、特定保健指導の実施が義務づけられました。これを受けて、保険者である蓬田村では平成 25 年 3 月に「第 2 期蓬田村国民健康保険特定健康診査等実施計画」を策定し、特定健診・特定保健指導に取り組んできました。

また、政府が発表した「日本再興戦略」（平成 25 年 6 月 14 日閣議決定）では、国民の健康寿命の延伸を重要課題とし、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として“データヘルス計画”の作成・公表、事業実施、評価等の取組みを求めるとともに、市町村国保が同様の取組みを行うことを推進する」ことを掲げました。

こうした背景を踏まえ、平成 26 年 3 月に国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針（「保健事業実施指針」）が一部改定され、保険者は健康・医療情報を活用して PDCA サイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、保健事業実施計画（データヘルス計画）を策定し、保健事業の実施及び評価を行うものとされました。

本村においても、これらの社会的な動きに対応し、平成 28 年 3 月に、「蓬田村国民健康保険データヘルス計画」を策定し、効果的な保健事業の推進に努めてきました

本計画は、このたび、「蓬田村国民健康保険データヘルス計画」が計画期間の最終年度となることを受け、計画に記載している目標値や事業の評価を踏まえて、「蓬田村第 2 期データヘルス計画」を策定するものです。

2 計画の位置付け

本計画は、特定健診等の結果やレセプトを活用・分析し、健康課題を明確にしたうえで、PDCA サイクルに沿って、効果的かつ効率的に保健事業施策を推進する計画です。また、国民健康保険法に基づく、村の保健事業実施計画（データヘルス計画）として位置づけるとともに、蓬田村の健康増進計画「健康よもぎた 21」との整合性を図るとともに、「第 3 期特定健康診査実施計画」と一体的に推進します。

3 計画期間

本計画は、「第 3 期特定健康診査実施計画」と一体的に推進していくことから、計画期間を平成 30～35 年度までの 6 年間とします。

4 計画のデータ取得方法

本計画のデータは、国・青森県との全国統一基準での比較及び分析の幅を広げるために、国保データベースシステム※（以下「KDB」という。）のデータを中心に使用しています。

そのため、公表値（特定健康診査・特定保健指導法定報告等）と異なることがあります。各図表下の資料出所にある「様式」については、KDBのデータ集計様式を指しています。

第2章 地域の健康課題

第2章 地域の健康課題

1 地域特性と健康実態

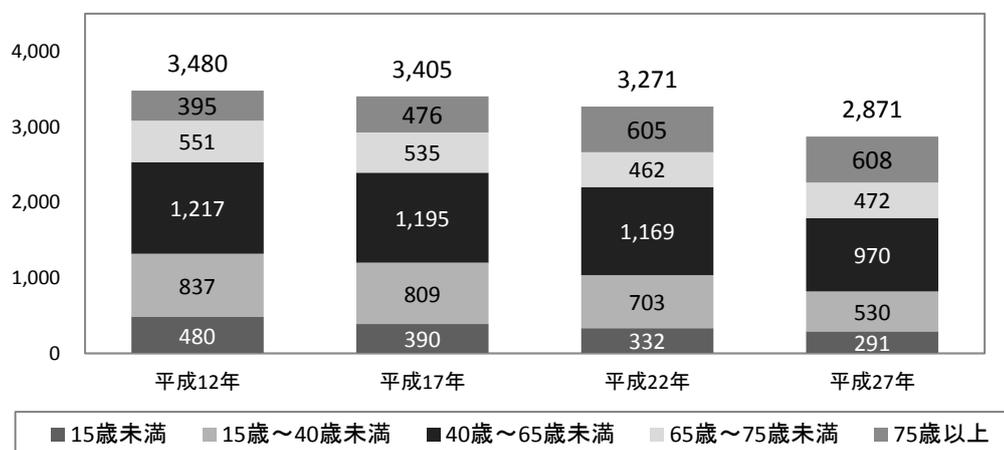
保健事業をより効果的・効率的なものとするため、KDBを活用しながら地域特性を踏まえ、村民の健康実態を把握しました。

(1) 人口の状況

本村の総人口は、年々減少傾向で推移しています。

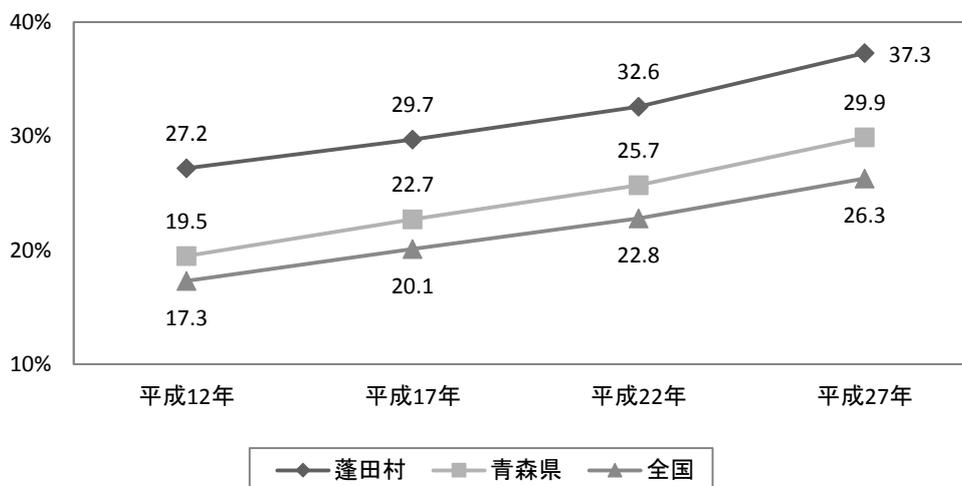
65歳以上の高齢者人口は年々増加傾向にあり、特に75歳以上が大きく増加しています。高齢化率も増加経過傾向にあり、平成27年で37.3%と国や県より高くなっています。

【年齢階級別の人口】



資料：国勢調査

【高齢化率(青森県・国比較)】



(2) 寿命と死亡の状況

① 平均寿命・健康寿命の状況

平均寿命・健康寿命をみると、男性の平均寿命（77.3年）は県と同水準で、国を下回っており、女性（84.8年）は国・県を下回っています。

また、健康寿命は、男性（64.4年）が県を上回り、国を下回っており、女性は国・県を下回っています。

【平均寿命・健康寿命の状況】

（単位：年）

		蓬田村	青森県	国
平均寿命	男性	77.3	77.3	79.6
	女性	84.8	85.4	86.4
健康寿命	男性	64.4	64.2	65.2
	女性	65.3	66.4	66.8

資料：KDB「地域の全体像の把握（平成28年）」

② 死亡の状況

死亡の状況をみると、標準化死亡比は男性（105.0）、女性（105.5）ともに、県より低く、国より高くなっています。

また、死因では平成26～28年合計をみると「がん」（39.8%）が最も高く、次いで「心臓病」（38.8%）、「脳疾患」（15.3%）となっています。

【標準化死亡比】

	蓬田村	青森県	国
男性	105.0	119.8	100.0
女性	105.5	109.6	100.0

資料：KDB「地域の全体像の把握（平成28年）」

【死亡数（平成26～28年合計）】

	死亡数(人)	比率(%)
がん	39	39.8%
心臓病	38	38.8%
脳疾患	15	15.3%
腎不全	3	3.1%
自殺	3	3.1%
糖尿病	0	0.0%

資料：KDB「地域の全体像の把握（平成26～28年）」

(2) 国民健康保険被保険者の状況

当村の被保険者の状況は全体的には減少傾向となっており、被保険者の平均年齢は増加しています。

【被保険者の人数】

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
被保険者数	1,036	987	972
被保険者平均年齢	50.5	51.4	51.6

資料：KDB「健診・医療・介護データから見る地域の健康課題」

2 医療の分析

(1) 医科・歯科受診率の状況

医療機関の受診率をみると、千人当たりの受診率（全体）は国・県より高くなっています。外来受診率、入院率も同様の傾向が表れています。一方、歯科受診率は国・県を大きく下回っています。

【医科・歯科受診率の状況（千人当たり）】

	蓬田村	青森県	国
受診率(全体)	792.628	711.213	686.501
外来受診率	770.648	693.188	668.314
入院率	21.980	18.025	18.187
歯科受診率	86.229	103.584	145.330

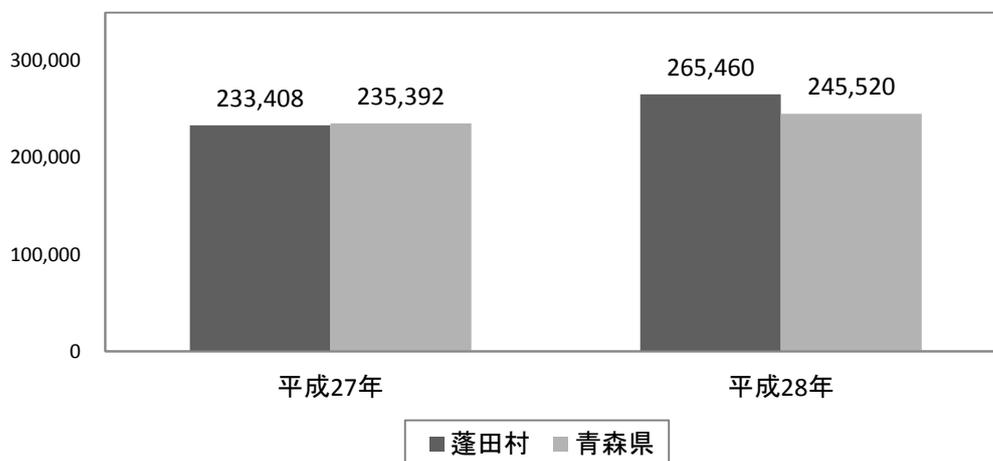
資料：KDB「地域の全体像の把握（平成28年）」

(2) 医療費の状況

① 1人当たり医療費の状況

1人当たり医療費をみると、平成27年は県平均を下回っていましたが、平成28年は県平均を上回っています。

【一人当たり医療費(年額)の推移】



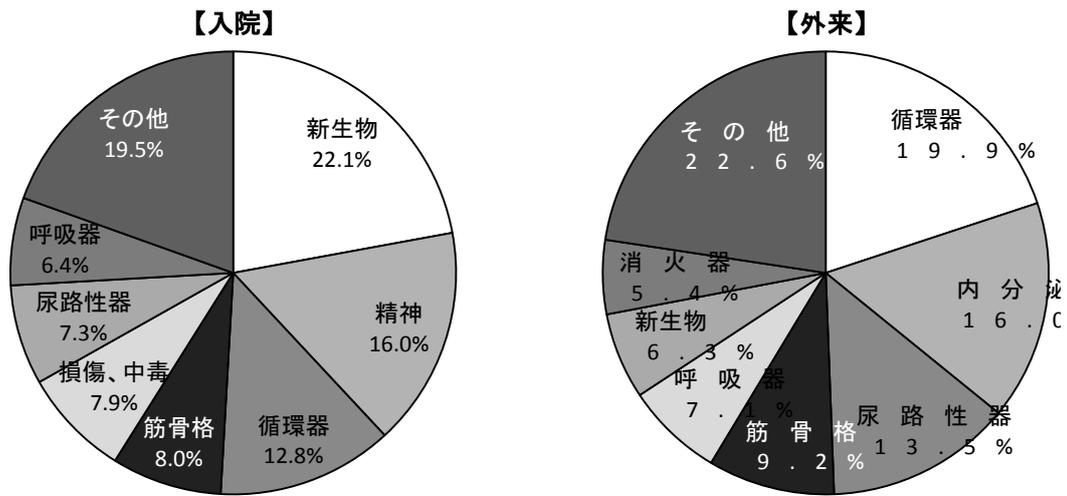
資料：国民健康保険事業年報

② 疾病大分類別医療費の状況

疾病大分類別医療費の割合をみると、入院は「新生物」(22.1%)に係る医療費の占める割合が最も高く、次いで「精神」(16.0%)、「循環器」(12.8%)、「筋骨格」(8.0%)となっています。外来では「循環器」(19.9%)が最も高く、次いで「内分泌」(16.0%)、「尿路性器」(13.5%)となっています。

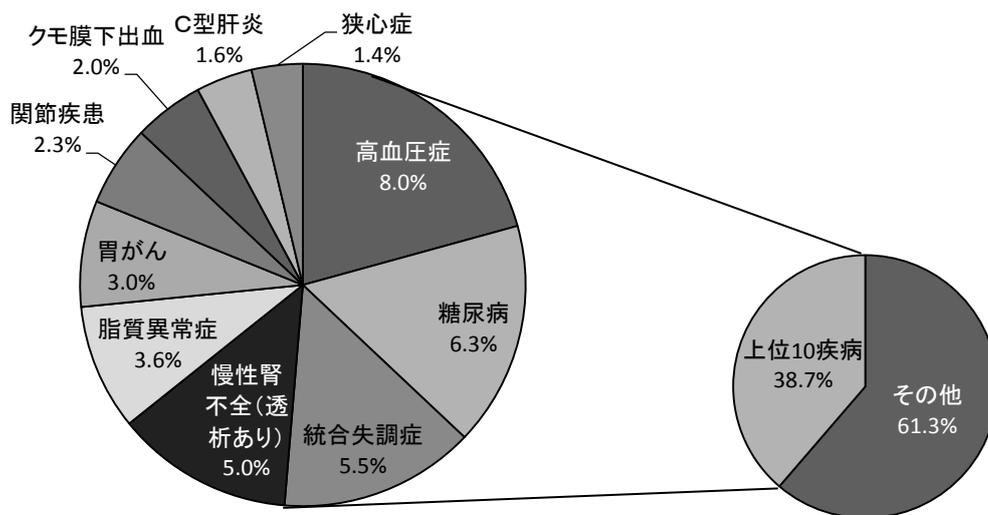
上位10疾病別医療費の内5%を超えているのは、「高血圧症」(8.0%)、「糖尿病」(6.3%)、「統合失調症」(5.5%)、「慢性腎不全」(5.0%)となっています。

【入院・外来の医療費】



資料：KDB「医療費分析(2)大、中、細小分類(平成28年)」

【上位10疾病別医療費】

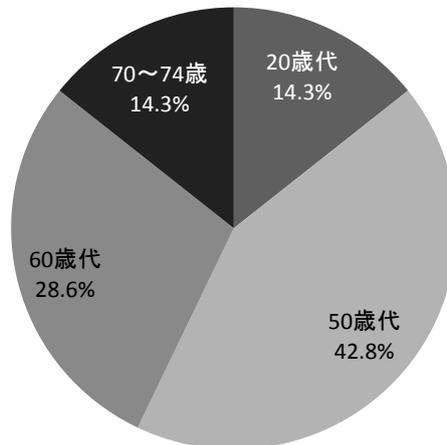


資料：KDB「医療費分析(2)大、中、細小分類(平成28年)」

③ 長期入院者の状況

長期入院者の割合を年代別にみると、50歳代(42.8%)が最も多く、次いで60歳代(28.6%)、20歳代と70～74歳は(14.3%)となっています。

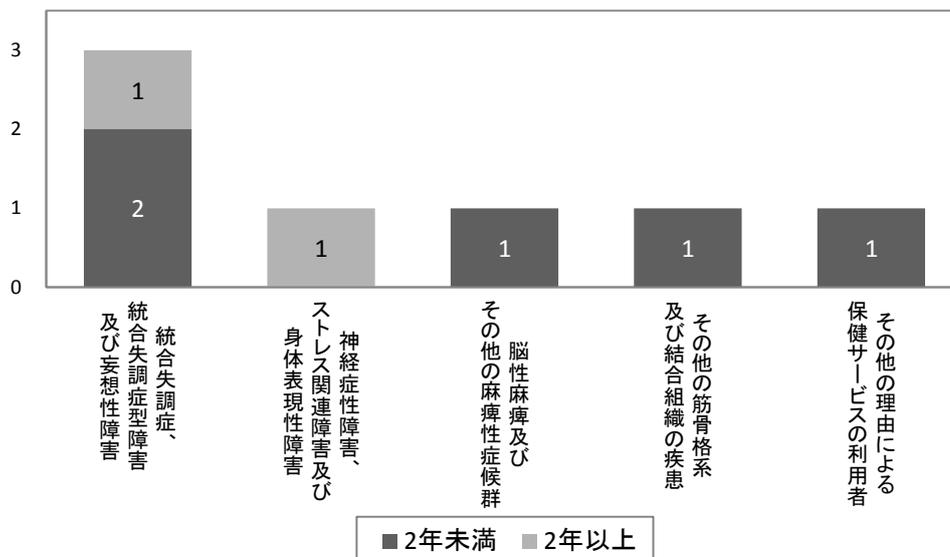
【年代別の長期入院者の割合】



資料：KDB「6ヶ月以上入院しているレセプト一覧（平成28年度累計）」

長期入院者の割合を疾患別（主疾病）にみると、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」で2年以上の入院者がみられます。

【疾患別(主疾病)の長期入院者の状況】

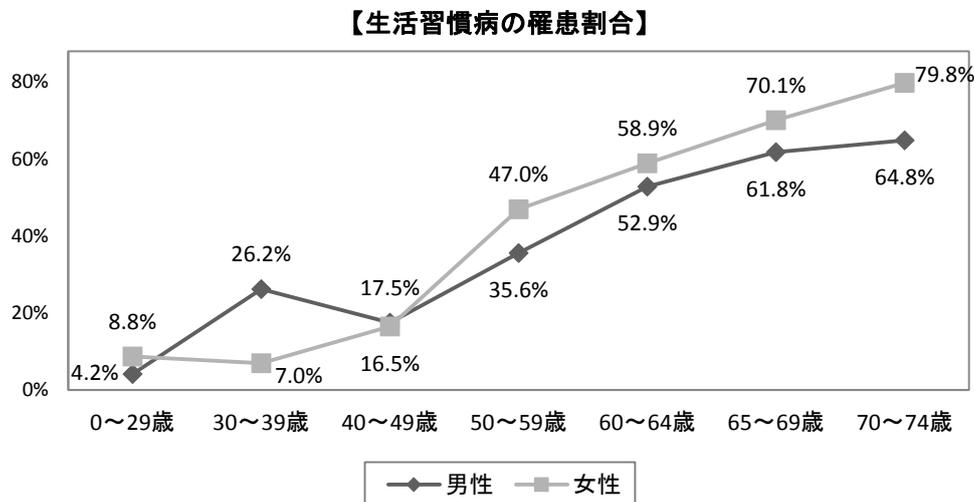


資料：KDB「6ヶ月以上入院しているレセプト一覧（平成28年度累計）」

(2) 生活習慣病等の分析

① 生活習慣病全体の分析

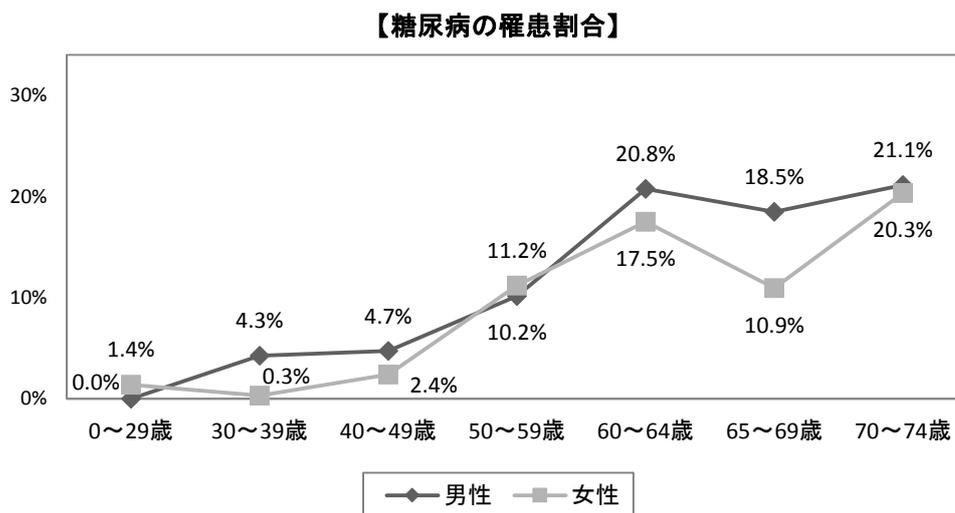
生活習慣病の罹患割合は、年齢とともに高くなる傾向にあり、50歳以上で男性より女性の方が高くなっています。



資料：KDB「生活習慣病全体のレセプト分析（平成28年度累計）」

② 糖尿病の分析

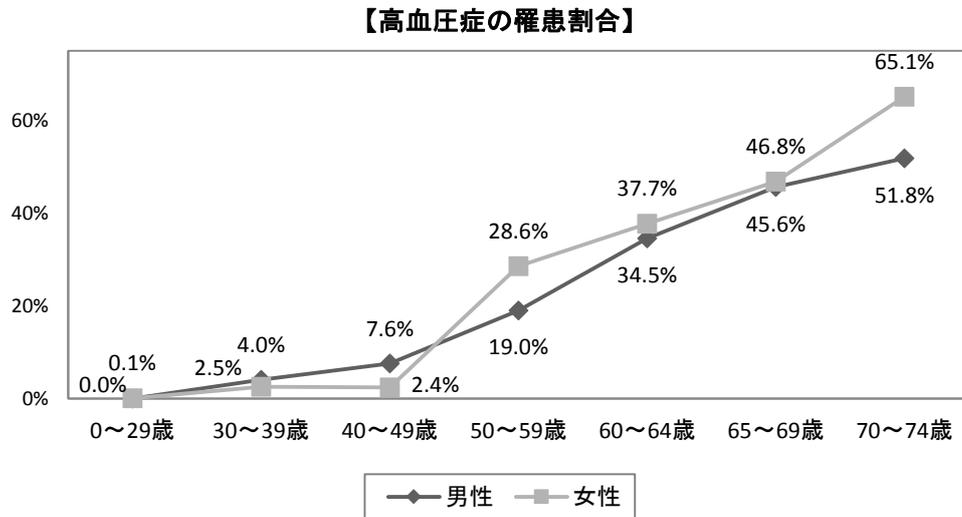
糖尿病の罹患割合は、男性・女性ともに50歳～59歳区分で一気に上昇しており、60～64歳区分においても大きく上昇、その後65歳～69歳区分では低下傾向となるが、70歳～74歳区分では男性・女性ともに20%を超えてきています。



資料：KDB「生活習慣病全体のレセプト分析（平成28年度累計）」

③ 高血圧症の分析

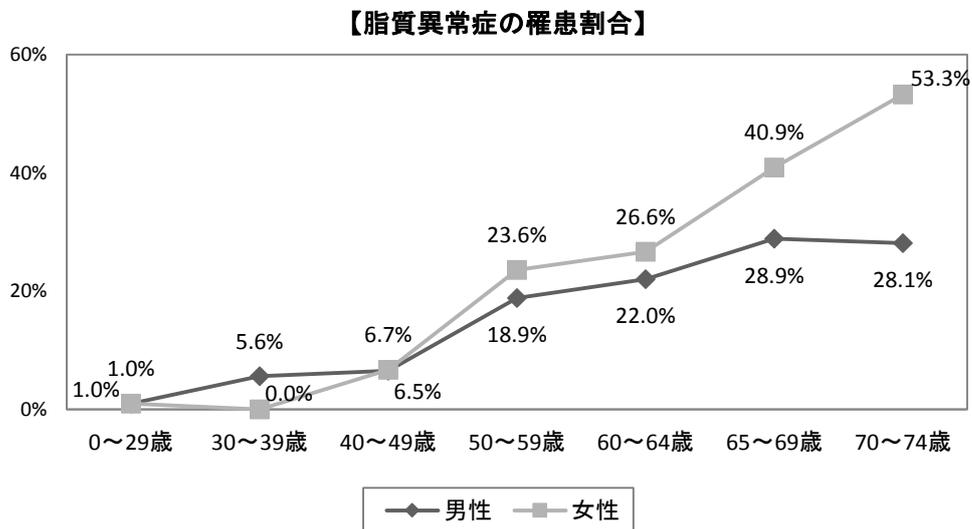
高血圧症の罹患割合は、50歳以上で女性の割合が男性を上回り、いずれも年齢とともに上昇傾向にあります。



資料：KDB「生活習慣病全体のレセプト分析（平成28年度累計）」

④ 脂質異常症の分析

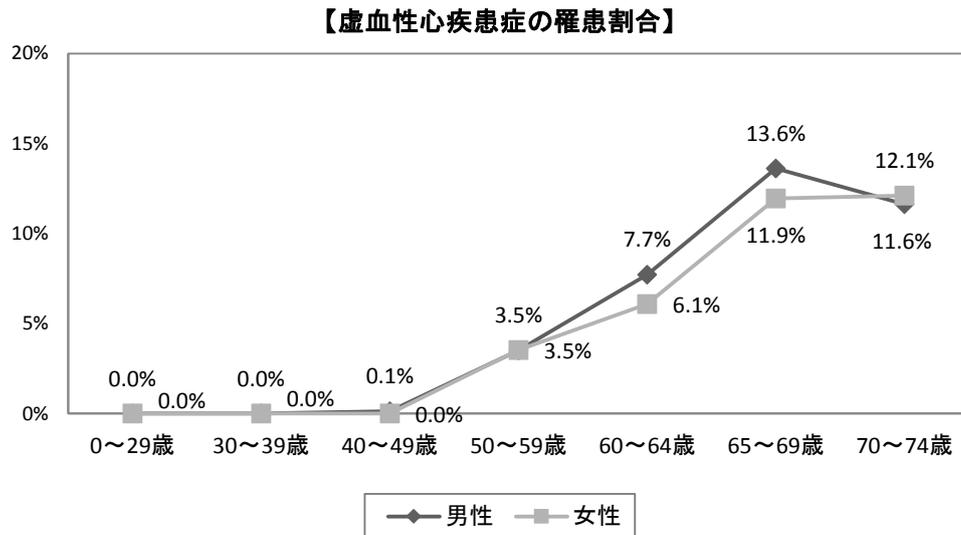
脂質異常症の罹患割合は、男性・女性とも年齢とともに上昇傾向にありますが、65歳～69歳区分から女性のみが急激に上昇しています。



資料：KDB「生活習慣病全体のレセプト分析（平成28年度累計）」

⑤ 虚血性心疾患の分析

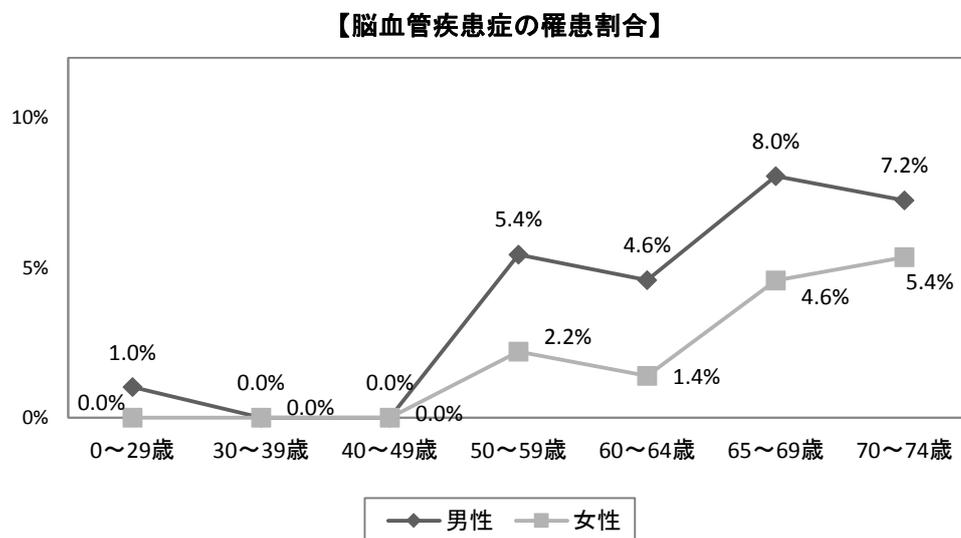
虚血性心疾患の罹患割合は、性別による差異は少なく、50才以上で割合が高くなっています。



資料：KDB「生活習慣病全体のレセプト分析（平成28年度累計）」

⑥ 脳血管疾患の分析

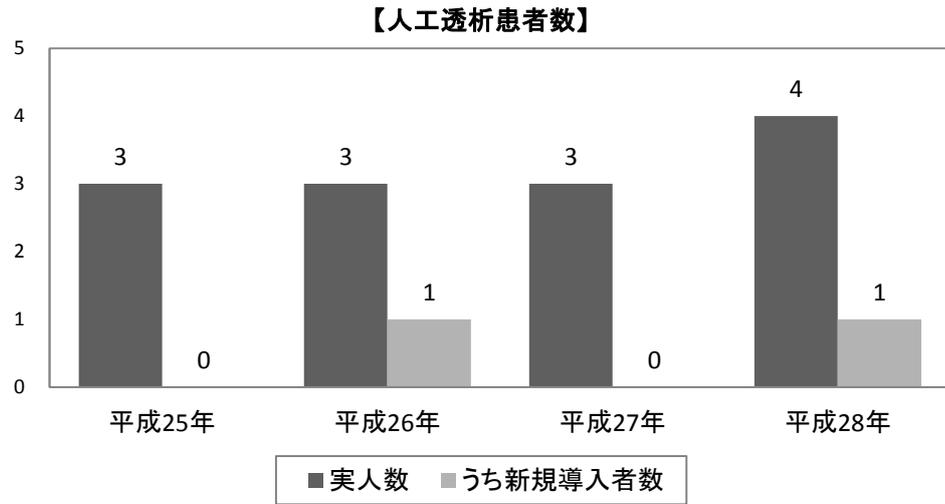
脳血管疾患の罹患割合は、ほぼすべての年齢階級で男性の割合が女性を上回り、50才以上で割合が高くなっています。



資料：KDB「生活習慣病全体のレセプト分析（平成28年度累計）」

⑦ 人工透析の分析

人工透析の患者数は 28 年度で 4 名となっています。



資料：KDB「厚生労働省様式 人工透析一覧（各年4月）」

3 介護の分析

(1) 要支援・要介護認定者の状況

要支援・要介護認定率、新規認定率は、国・県より低く、第2号被保険者認定率は、県と同水準で国より高くなっています。

また、1人当たり給付費をみると、国・県平均を上回っています。

【要支援・要介護認定者の状況】

	蓬田村	青森県	国
認定率	20.8%	21.5%	21.2%
2号認定率	0.5%	0.5%	0.4%
新規認定率	0.2%	0.3%	0.3%

資料：KDB「地域の全体像の把握（平成28年）」

【1件当たり給付費】

	蓬田村	青森県	国
平成26年	83,453	65,398	60,773
平成27年	89,612	64,362	58,761
平成28年	95,261	64,282	58,349

資料：KDB「地域の全体像の把握（平成26～28年）」

(2) 要支援・要介護認定者の有病状況

要支援・要介護認定者の有病状況をみると、「心臓病」(64.0%)が最も高く、次いで「高血圧症」(58.1%)、「筋・骨格」(54.1%)が50%を超え、国・県より高くなっています。国の割合と比較すると、「心臓病」で6.5ポイント、「高血圧症」で7.6ポイント、「筋・骨格」で4.2ポイント高くなっています。

【要支援・要介護認定者の有病状況】

	蓬田村	青森県	国
糖尿病	20.1%	21.3%	21.9%
高血圧症	58.1%	51.7%	50.5%
脂質異常症	30.0%	25.7%	28.2%
心臓病	64.0%	57.6%	57.5%
脳疾患	29.2%	26.6%	25.3%
がん	7.6%	8.6%	10.1%
筋・骨格	54.1%	46.0%	49.9%
精神	39.3%	35.9%	34.9%
認知症	27.3%	22.4%	21.7%
アルツハイマー病	22.9%	18.2%	17.7%

資料：KDB「地域の全体像の把握（平成28年）」

(3) 要介護認定者と医療費の関係

当村の医科医療費をみると、要介護認定者（7,928円）で国を下回っているものの、県より高く、一方、要介護認定なし者（3,479円）は国・県よりも低くなっています。

また、歯科医療費をみると、要介護認定者（2,494円）、要介護認定なし者（1,903円）ともに国・県よりも高くなっています。

要支援・要介護認定の有無と医療費との関係をみると、医科医療費・歯科医療費ともに国・県同様、認定者が認定なし者を大きく上回ります。

【要介護認定者と医療費（月額）の関係】

（単位：円）

		蓬田村	青森県	国
要介護認定者医療費	医科	7,928	6,974	7,980
	歯科	2,494	1,841	1,573
要介護認定なし者医療費	医科	3,479	3,618	3,822
	歯科	1,903	1,620	1,352

資料：KDB「地域の全体像の把握（平成28年）」

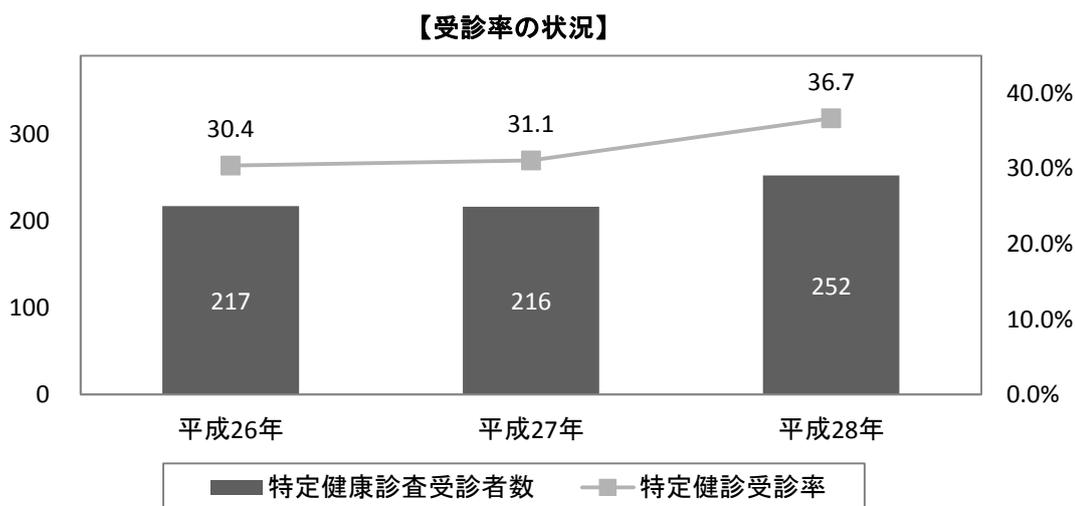
4 特定健康診査の分析

(1) 特定健診の受診状況

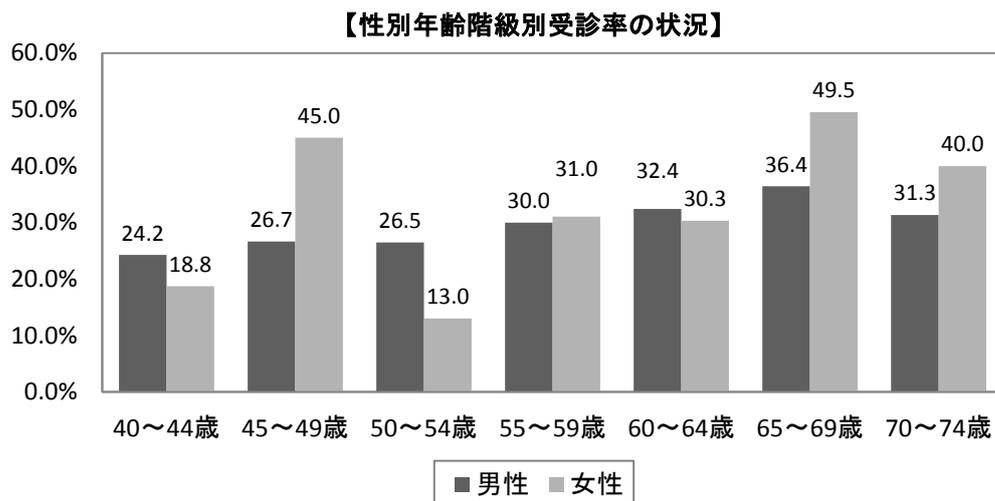
① 受診率の状況

特定健診受診率は、4割を切る状況ですが、年々増加しています。

性別年齢階級別受診率の状況を見ると40～44歳、50～54歳、60～64歳で男性の受診率が女性よりも高くなっています。また、男性の受診率は65～69歳まで年齢とともに高くなっていますが、70～74歳で減少しています。女性は45～49歳で45.0ポイント、65～69歳で49.5ポイント、70～74歳で40.0ポイントと高くなっています。



資料：KDB「地域の全体像の把握（平成26～28年）」

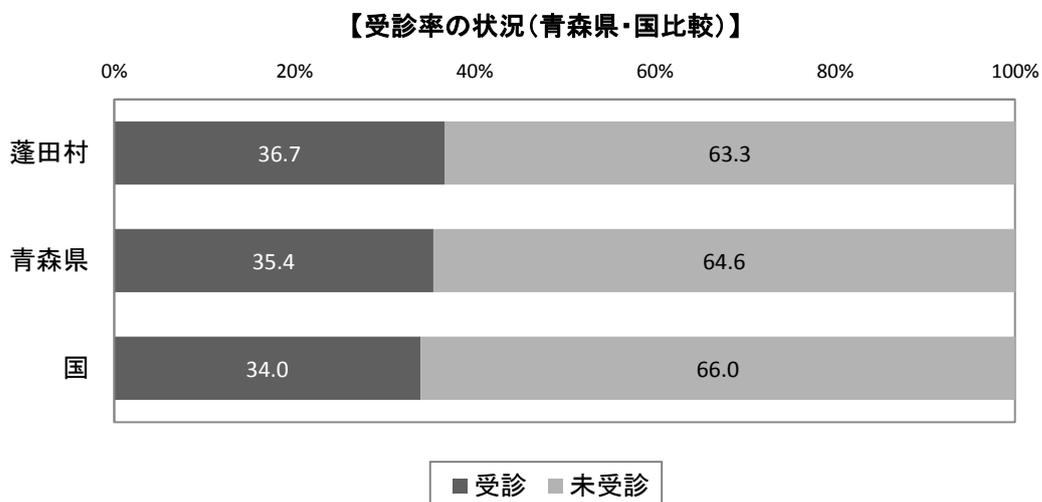


資料：KDB「健診受診状況（平成28年度）」

② 未受診者の分析

特定健診未受診率は、国・県より低くなっています。

また、特定健診受診者と未受診者における生活習慣病等 1 人当たり医療費をみると、特定健診の受診者は国・県の生活習慣病等の 1 人当たり医療を上回り、未受診者は国・県の生活習慣病等の 1 人当たり医療費を下回っています。



資料：KDB「地域の全体像の把握（平成 28 年）」

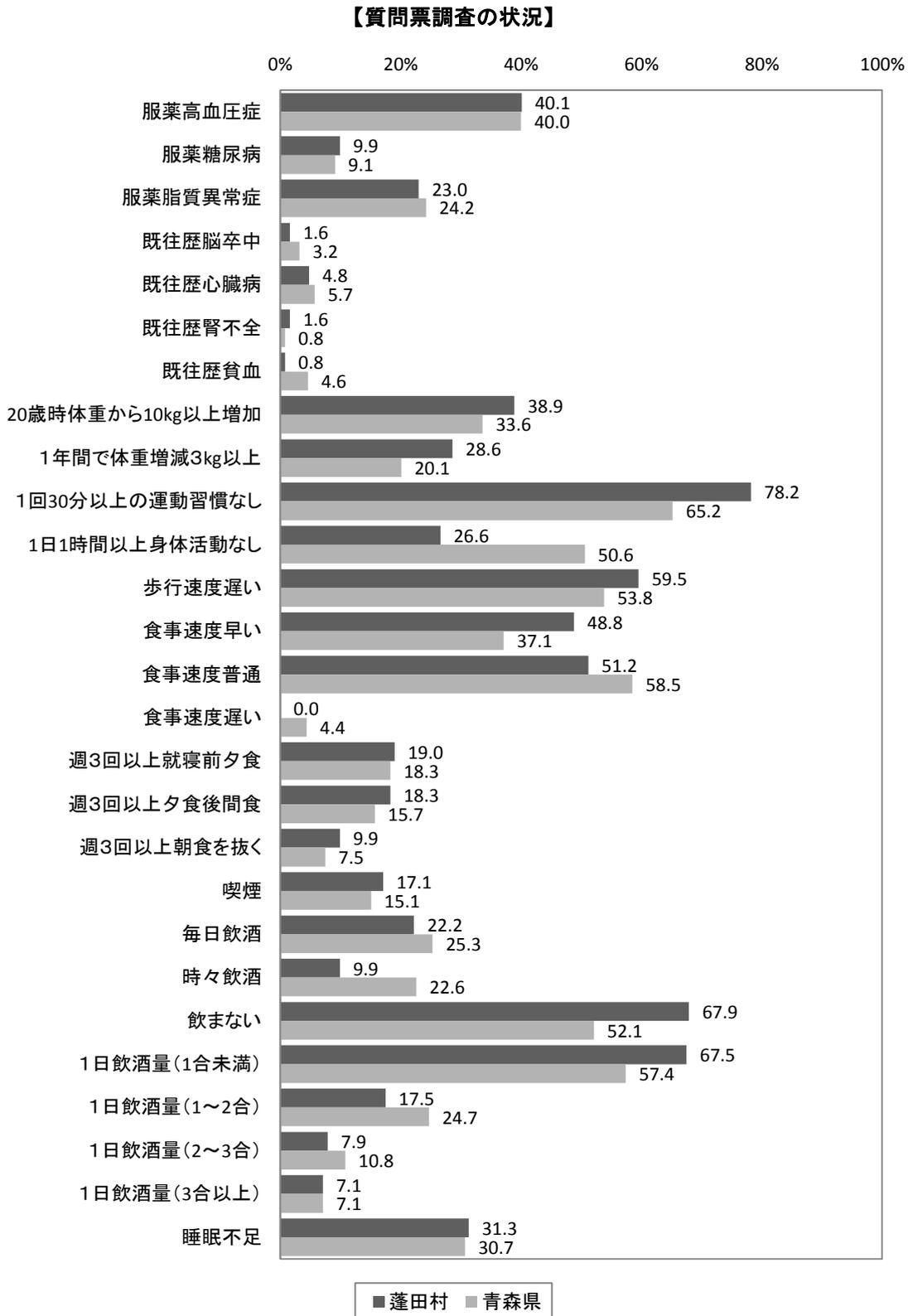
【特定健診受診者と未受診者における生活習慣病等 1 人当たり医療費】

(単位：円)

	蓬田村	青森県	国
特定健診受診者	8,914	6,430	5,940
特定健診未受診者	26,218	34,260	36,479

(2) 特定健診の問診結果からみた生活習慣の状況

特定健診の問診結果からみた「生活習慣病の状況」「体重」「運動習慣等」「食習慣」「喫煙・飲酒状況」、及び「睡眠の状況」は以下のとおりです。



(3) 特定健診結果の状況

① 健診結果の状況

特定健診の結果をみると、メタボリックシンドロームの該当割合は、男性が国・県より低く、女性が国・県より高くなっています。一方、メタボリックシンドローム予備群の該当割合は、男女ともに国・県より高い状況です。非肥満高血糖については、国・県より低くなっています。

健診受診者の性別有所見者状況をみると、男性では「BMI」「ALT」「LDLコレステロール」、女性では「BMI」「腹囲」「ALT」「HDLコレステロール」「収縮期血圧」「拡張期血圧」が国・県より高い状況です。

【健診結果の状況】

		蓬田村	青森県	国
メタボリックシンドローム	男性	22.1%	26.3%	27.5%
	女性	13.8%	9.8%	9.5%
メタボリックシンドローム予備群	男性	19.7%	16.2%	17.2%
	女性	7.7%	6.7%	5.8%
非肥満高血糖		7.1%	10.5%	9.3%

資料：KDB「地域の全体像の把握（平成28年）」

【健診受診者の性別有所見者状況】

	男性			女性		
	蓬田村	青森県	国	蓬田村	青森県	国
BMI(体重kg÷身長 ² m)	38.5%	33.9%	30.5%	30.0%	26.6%	20.6%
腹囲	45.9%	46.8%	50.1%	21.5%	18.6%	17.3%
脂質(中性脂肪)	25.4%	24.4%	28.2%	14.6%	11.6%	16.3%
ALT(肝機能)	26.2%	26.0%	20.4%	11.5%	11.3%	8.7%
HDLコレステロール	5.7%	6.5%	8.7%	2.3%	1.4%	1.8%
血糖(HbA1c)	33.6%	47.8%	27.9%	26.9%	30.6%	16.8%
収縮期血圧	45.9%	48.2%	49.2%	44.6%	40.8%	42.7%
拡張期血圧	22.1%	26.1%	24.1%	16.9%	15.1%	14.4%
LDLコレステロール	50.0%	46.7%	47.3%	45.4%	55.1%	57.1%
クレアチニン(腎機能)	0.0%	1.5%	1.8%	0.0%	0.2%	0.2%

資料：KDB「健診有所見者状況（平成28年）」

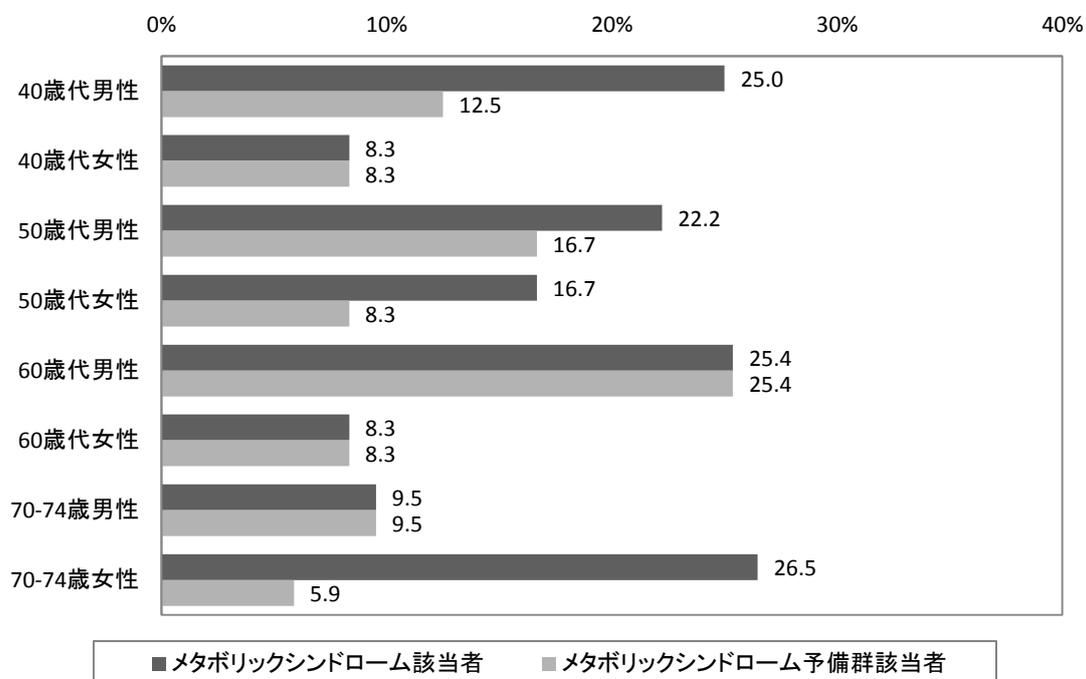
② メタボリックシンドローム該当者・予備群の分析

性別年代別にみると、メタボリックシンドローム該当者では、男性が60歳代、70歳代で最も高くなっています。

メタボリックシンドローム予備群該当者では、男性、女性ともに60歳代で最も高くなっています。

【性別年代別メタボリックシンドローム該当者・予備群の状況】

		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代	
		該当者	健診受診者	該当者	健診受診者	該当者	健診受診者	該当者	健診受診者
メタボリックシンドローム	男性	4	16	4	18	17	67	2	21
	女性	1	12	2	12	6	72	9	34
メタボリックシンドローム予備群	男性	2	16	3	18	17	67	2	21
	女性	1	12	1	12	6	72	2	34



資料：KDB「メタボリックシンドローム該当者・予備群（平成28年）」

※該当者及び予備群の割合は、各年代の特定健診受診者数に対する割合

血糖、血圧、脂質の検査項目において基準値を超える値が重なると、命に関わる虚血性心疾患や脳血管疾患を引き起こすリスクが高くなります。

メタボリックシンドローム該当者・予備群となる検査値をみると、「血糖・血圧・脂質」のいずれも基準値を超えている重複者割合は、国・県より低くなっています。

「血糖」の該当率は国・県より低く、「血圧」は国・県より高く、「脂質」は国より低く、県より高くなっています。

【メタボリックシンドローム該当者・予備群の検査値の該当率】

		蓬田村	青森県	国
腹囲	男性	45.9%	46.8%	50.1%
	女性	21.5%	21.5%	21.5%
BMI	男性	3.3%	2.9%	1.7%
	女性	10.0%	10.6%	7.0%
血糖のみ		0.4%	0.7%	0.7%
血圧のみ		11.1%	7.9%	7.4%
脂質のみ		2.0%	2.2%	2.6%
血糖・血圧の重複		4.0%	3.7%	2.7%
血糖・脂質の重複		0.4%	0.7%	1.0%
血圧・脂質の重複		10.7%	7.5%	8.4%
血糖・血圧・脂質の重複		2.8%	4.9%	5.2%

資料：KDB「地域の全体像の把握（平成28年）」

【メタボリックシンドローム該当者・予備群検査値の「血糖」「血圧」「脂質」該当率】

	蓬田村	青森県	国
血糖	7.5%	10.1%	9.5%
血圧	28.6%	24.1%	23.8%
脂質	15.9%	15.4%	17.3%

資料：KDB「地域の全体像の把握（平成28年）」

※血糖＝「血糖」＋「血糖・血圧」＋「血糖・脂質」＋「血糖・血圧・脂質」

血圧＝「血圧」＋「血糖・血圧」＋「血圧・脂質」＋「血糖・血圧・脂質」

脂質＝「脂質」＋「血糖・脂質」＋「血圧・脂質」＋「血糖・血圧・脂質」

(4) 特定保健指導の状況

特定保健指導実施率は、23.5%と国・県を上回っている状況です。

【特定保健指導実施状況】

	蓬田村	青森県	国
特定保健指導実施率	23.5%	8.4%	4.1%

資料：KDB「地域の全体像の把握（平成28年）」

特定健診・特定保健指導実施結果報告（蓬田村）

【特定保健指導対象者と実施率】

	特定保健指導	指導 対象者数	指導 実施者数	実施率
平成26年度	積極的支援	13	2	15.4%
	動機付け支援	18	1	5.6%
	計	31	3	9.7%
平成27年度	積極的支援	5	0	0.0%
	動機付け支援	15	4	26.7%
	計	20	4	20.0%
平成28年度	積極的支援	12	3	25.0%
	動機付け支援	22	5	22.7%
	計	34	8	23.5%

資料：KDB「地域の全体像の把握（平成28年）」

特定健診・特定保健指導実施結果報告（蓬田村）

5 保健事業実施状況（平成 28 年度実績）

（1）特定健康診査関係

事業名	実績
特定健康診査 （国保40～74歳）	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者数 : 747 人 ・受診者数 : 261 人 ・受診率 : 34.9% （平成 28 年度目標値 55%） ・特定健診受診者数前年度比較 28 人増
精密検査受診状況 （報告・レセプトより）	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者数 : 101 人 ・受診者数 : 83 人 ・受診率 : 82.2%
国保以外の健康診査 （健康増進法に基づく）	<ul style="list-style-type: none"> ・受診者数 : 1 人
肝炎ウイルス検診	<ul style="list-style-type: none"> ・集団方式 ・受診者数 : 24 人

（2）特定保健指導の実施状況

		階層化別	対象者	参加者
40～64歳	積極的支援	12 人	10 人	4 人
	動機づけ支援	9 人	7 人	3 人
	計	21 人	17 人	7 人
65～74歳	積極的支援	0 人	0 人	0 人
	動機づけ支援	14 人	10 人	3 人
	計	14 人	10 人	3 人
計	積極的支援	12 人	10 人	4 人
	動機づけ支援	23 人	17 人	6 人
	計	35 人	27 人	10 人

○実施率 37.0%（平成 28 年度目標 40%）

○村直営で実施（個別及び集団健康教育時に対応）年度をまたいでの実施

（3）各種がん検診の状況（健康増進事業分）

事業名	実績
胃がん検診 （40歳以上）	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者数 : 1,325 人 ・受診者数 : 268 人 ・受診率 : 20.2% ・胃がん検診受診者数前年度比較 58 人増 ・要精検者数 : 23 人 ・精検受診者数 : 23 人 ・精検受診率 : 100.0% （がん・がん疑い等の診断 2 人）

事業名	実績
大腸がん検診 (40歳以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者数 : 1,325 人 ・受診者数 : 352 人 ・受診率 : 26.6% ・大腸がん検診受診者数前年度比較 41 人増 ・要精検者数 : 21 人 ・精検受診者数 : 20 人 ・精検受診率 : 95.2% (がん・がん疑い等の診断 0 人)
肺がん検診 (40歳以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者数 : 1,325 人 ・受診者数 : 383 人 ・受診率 : 28.9% ・大腸がん検診受診者数前年度比較 54 人増 ・要精検者数 : 15 人 ・精検受診者数 : 15 人 ・精検受診率 : 100.0% (がん・がん疑い等の診断 0 人)
子宮がん検診 (20歳以上女性隔年受診)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者数 : 413 人 ・受診者数 : 76 人 ・受診率 : 18.4% ・子宮がん検診受診者数前年度比較 6 人増 ・要精検者数 : 1 人 ・精検受診者数 : 1 人 ・精検受診率 : 100.0% (がん・がん疑い等の診断 0 人)
乳がん検診 (30歳以上女性隔年受診)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者数 : 413 人 ・受診者数 : 97 人 ・受診率 : 24.0% ・子宮がん検診受診者数前年度比較 20 人増 ・要精検者数 : 3 人 ・精検受診者数 : 3 人 ・精検受診率 : 100.0% (がん・がん疑い等の診断 0 人)
前立腺がん検診 (50歳以上男性)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者数 : 504 人 ・受診者数 : 145 人 ・受診率 : 28.8% ・子宮がん検診受診者数前年度比較 25 人増 ・要精検者数 : 9 人 ・精検受診者数 : 8 人 ・精検受診率 : 88.9% (がん・がん疑い等の診断 2 人)

(4) 骨粗鬆症検診の状況

事業名	実績
骨粗鬆症検診 (40歳以上男女)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者数 : 1,325 人 ・受診者数 : 99 人 ・受診率 : 7.5% ・胃がん検診受診者数前年度比較 3 人増 ・要精検者数 : 9 人 ・精検受診者数 : 6 人 ・精検受診率 : 66.7%

(5) 集団健康教育関係 (40~64 歳)

※以下の事業やその他の機会を活用し実施

事業名	実績
生活習慣病予防教室 (健康相談を併設) (40~64歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 5 回 ・参加者数 延 12 人 (65 歳以上含む参加者総数 78 人) テーマ別 (再掲: 延) <ul style="list-style-type: none"> 病態別 3 回 6 人 (65 歳以上含む参加者総数 54 人) 一般 2 回 6 人 (65 歳以上含む参加者総数 24 人) ・内容 : 講話、調理実習、運動、健康相談 ・講師 : 栄養士 3 回、健康運動指導士 2 回、村保健師
村民祭での 生活習慣病予防PR関係	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 1 回 ・参加者数 延 100 人
啓発活動	各種パンフレットやチラシ、ポスター等機会を捉えて配布した。
職域対象 働き世代の健康セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 1 回 ・参加者数 23 人 (65 歳以上含む参加者総数 29 人) ・内容 : 講話、だし活、健康相談 ・講師 : 保健所所長、保健所管理栄養士、村保健師
職域への健康教育 (漁協、漁協・農協女性部)	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 4 回 ・参加者数 延 24 人 (65 歳以上含む参加者総数 48 人) テーマ別 (再掲: 延) <ul style="list-style-type: none"> 病態別 3 回 18 人 (65 歳以上含む参加者総数 38 人) 一般 2 回 6 人 (65 歳以上含む参加者総数 10 人) ・内容 : 講話、調理実習、運動、健康相談 ・講師 : 保健所管理栄養士 2 回、健康運動指導士、保健所保健師、村保健師

(6) 健康相談事業

※以下の事業やその他の機会を活用し実施

事業名	実績
生活習慣病予防教室 (40～64歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 5回 ・参加者数 延 12人 (65歳以上含む参加者総数 78人) テーマ別 (重点健康相談) 病態別 2回 6人 (65歳以上含む参加者総数 37人) 高血圧 1回 0人 (65歳以上含む参加者総数 17人) 一般 2回 6人 (65歳以上含む参加者総数 24人)
村民祭等	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 1回 ・参加者数 167人 (65歳以上含む参加者総数 403人) テーマ別 (重点健康相談) 病態別 1回 24人 (65歳以上含む参加者総数 94人) 高血圧 1回 16人 (65歳以上含む参加者総数 81人) 歯周疾患 1回 27人 (65歳以上含む参加者総数 128人) 一般 1回 100人
職域対象 働き世代の健康セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 1回 ・参加者数 23人 (65歳以上含む参加者総数 29人)
健診結果説明会 (漁協)	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 1回 ・参加者数 14人 (65歳以上含む参加者総数 19人)
職域への健康教育 (漁協、漁協・農協女性部)	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 4回 ・参加者数 延 24人 (65歳以上含む参加者総数 48人) テーマ別 (再掲：延) 病態別 3回 18人 (65歳以上含む参加者総数 40人) 一般 1回 6人 (65歳以上含む参加者総数 8人)

6 分析結果に基づく健康課題

	分析結果に基づく主な健康課題		対策の方向性
特定健診等	<p>特定健診受診率が4割に届かず、年代別にみると比較的若い世代の受診率が低い。</p> <p>健診結果の状況を見ると女性のメタボ・男女ともにメタボ予備軍の該当率が高く、有所見者の状況を見ると男性がBMI、ALT、LDL コレステロール、女性がBMI、腹囲、ALT、HDL コレステロール、血圧の数値が国、県に比べ高い。</p> <p>特定保健指導の利用率が低い。</p>	➡	<p>健診を受けやすい環境の整備をおこなう。40歳、50歳代の壮年期の受診者の増加につながる取り組みが必要。</p> <p>健診結果ではメタボ・メタボ予備軍の該当者は多く、また、県平均を上回る有所見者が多い項目がある。健診を受け指導へつなげ、早期に改善につなげていく。</p> <p>健診結果説明会等、健診結果を返却する時に初回面接を実施するなど、保健指導を受ける機会を増やす</p>
医療費データ	<p>1人当たりの医療費が県平均を上回っている。</p> <p>入院外来を含む疾病別医療費の1位が「高血圧症」、2位が「糖尿病」となっており、生活習慣病の医療費が上位を占めている。</p> <p>入院費医療費の1位は「新生物」(22.1%)、「精神」(16.0%)、「循環器」(12.8%)となっており、上位3疾病で5割以上の医療費を占めている。</p>	➡	<p>糖尿病については健診データなどからは血糖に関する突出したデータを示すものがないわりに医療費が高いため、潜在的な対象者を見つけ出していくためにも健診受診者を増やし、予防・改善につなげる。</p> <p>生活習慣病は重症化すると医療費が高額になりやすいため、小学生も含む若い時期からの健康教育を行い、ヘルスリテラシーの向上に努める。</p>
介護データ	<p>高齢化率が高く、介護認定率の上昇する後期高齢者も年々増加傾向にある。</p> <p>要支援・要介護認定者の有病状況をみると「心臓病」(64.0%)、「高血圧症」(58.1%)、「筋・骨格」(54.1%)が非常に高い。</p>	➡	<p>高齢化率が高いため、人数の多い高齢者にこそ元気でいてもらう必要がある。介護予防教室や運動教室等に積極的に参加をしてもらうよう取り組む。</p> <p>医療費データ、健診データの分析結果と併せ、循環器疾患について対策を講じる</p>

第3章 計画の目的・目標設定

第3章 計画の目的・目標設定

1 目的

当村の人口は年々減少しつつづけている一方で、高齢者比率は上昇しており、少子高齢化の傾向はますます顕著になっています。

また、食生活の変化、喫煙、飲酒、運動習慣が少ないなどの要因により、がんや循環器系疾患等の生活習慣病が増加し、認知症や脳血管疾患などを原因疾患とした要介護認定者が増加するなど、近年、疾病構造は大きく変化してきています。

これらの医療、介護の分析から、どうすれば健康寿命を延ばし、子供からお年寄りまでいきいきと暮らせるまちづくりができるのかを考え、村民一人ひとりが自分の健康に関心を持ち、特定健診を受け、健診結果に応じた生活習慣の改善に取り組むことを目的とします。

2 目標

- | |
|---|
| <p>目標1 特定健診の新規受診者の獲得と特定健診受診率の向上を図ります。</p> <p>目標2 特定健診結果の精密検査受診率100%を目指します。</p> <p>目標3 糖尿病の発症と重症化を予防します。</p> <p>目標4 特定保健指導実施率の向上を図ります。</p> <p>目標5 がん検診受診率の向上とがん検診精密検査受診率の向上を図ります。</p> |
|---|

(1) 長期・中期目標

被保険者が、「自分の健康は自分でつくる」という意識を持ち、自分の健康状態を正しく理解して、健康増進、疾病予防に努めることで健康寿命の延伸を図ります。

(2) 短期目標

糖尿病を主とした内分泌系疾患や高血圧症、脂質異常症などの循環器系疾患の予防に取り組むことにより、生活習慣病及びその合併症の発症と重症化の予防を図ります。

(3) 目標の評価方法

目標は、それぞれ下記の評価方法で評価する。

目標	評価方法
目標1	特定健診受診率、新規受診者数
目標2	特定健診項目毎精密検査受診率
目標3	KDBでの対象者抽出による家庭訪問等での受診勧奨を実施し、指導後にレセプトで受診状況を確認 糖尿病要指導者の各事業参加、利用状況等
目標4	特定保健指導実施率
目標5	がん検診受診率、がん検診精密検査受診率

【目標値一覧】

項目	指 標		現状値 (H28年)	青森県 (H28年)	目標値 (H35年)
平均寿命	健康寿命	男性	64.4歳	64.2歳	70歳
		女性	65.3歳	66.4歳	70歳
	死因(第1位)	がん	44.7%	48.6%	40.0%
生活習慣	喫煙		17.1%	15.1%	12.0%
	1日飲酒量	2合以上(2~3合、3合以上)	15.0%	17.9%	10.0%
特定健診	受診率		36.7%	35.4%	70%
	メタボリックシンドローム 該当者	男性	22.1%	26.3%	17.0%
		女性	13.8%	9.8%	9.0%
	メタボリックシンドローム 予備群	男性	19.7%	16.2%	15.0%
		女性	7.7%	6.7%	5.0%
	非肥満高血糖		7.1%	10.5%	5.0%
	特定保健指導実施率		23.5%	8.4%	45.0%
	メタボリックシンドローム 該当者・予備群の 検査値該当率	血糖	7.5%	10.1%	5.0%
		血圧	28.6%	24.1%	25.0%
脂質		15.9%	15.4%	11.0%	
未治療者率		4.0%	2.9%	2.0%	
医療費	1人当たり医療費		265,460円 (H27年)	245,520円 (H27年)	245,000円

第4章 保健事業の実施内容

第4章 保健事業の実施内容

1 各種健（検）診受診率・精密検査受診率・特定保健指導実施率の向上

生活習慣病対策を基本とした健康づくりを進める上での第一歩が特定健診の受診にあります。健診結果をもとにリスク要因を把握し、生活習慣病有病者やメタボリックシンドローム該当者及び予備群の抽出、メタボリックシンドローム該当者への特定保健指導を行います。そのため、健診受診率向上に積極的に取り組みます。今後は健診体制や環境の充実を図り、さらなる健診受診率の向上に努めます。あわせて、がん検診などの受診率の向上にも努めます。

【今後の取組】

- 漁協・農協・商工会・婦人会等に働きかけ、働き盛りの年代の各種健診受診など健康づくり強化に努めます。
- 各種健（検）診の受診者数・受診率向上に向け受診勧奨等保健協力員活動他による事前 PR の強化と健（検）診を受けやすい環境づくりに努めます。
 - ①健康まつりやその他さまざまな機会を通じ、健（検）診受診の呼びかけを行います。
 - ②特定健診未受診者に対する個別の受診勧奨通知を作成し、受診勧奨を行います。
- 健（検）診ポイント制の実施など、健康に関心を持つ機会の拡大を図ります
- 各種健（検）診事後指導の強化。
 - ①精密検査100%をめざし、要精密検査者への受診勧奨を行います。
 - ②特定健診要指導・要医療者への知識の普及を図ります。

2 生活習慣改善の普及啓発

生活習慣は予防対策が可能ではあるものの、地域や家庭内で引き継がれた長年の習慣でもあるため、意識改革が必要です。体重や血圧などの自己測定や、歯科の定期検診受診などの健康管理を促すとともに、適度な飲酒習慣やバランスの良い食生活、日常の運動を増やす工夫など生活習慣の改善に取り組めるような環境づくりを整えます。

【今後の取組】

- メタボリックシンドロームの予防改善を含めた生活習慣病予防の推進。
 - ①生活習慣病予防教室における講話や運動指導、調理実習を開催します。
 - ②村広報誌等による普及啓発を実施します。
 - ③保健協力員等社会資源の活用や各種機会を通じての生活習慣病予防に関する PR を実施します。

3 医療費適正化対策

医療費増大の原因の一つとなる医療機関への重複・頻回受診者への適正受診の重要性を周知していくとともに、健康相談時にも適正受診への啓発を行います。また後発医薬品（ジェネリック医薬品）は、先発医薬品に比べ薬価が安価なため、後発医薬品のさらなる利用促進の普及を図ることで、患者負担の軽減及び医療保険財政の改善につなげます。

【今後の取組】

- 蓬田村重複・頻回受診対象者訪問指導実施計画書に基づき、重複・頻回受診者への適正化対策を実施します。（平成 29 年度 重複・頻回対象者 18 名 訪問実績 3 件）
- 後発医薬品（ジェネリック医薬品）に関して、利用促進の普及を図ります。
（平成 28 年度 ジェネリック医薬品利用割合 68.2%）

4 地域包括ケアシステムに係る取組

地域包括ケアシステムの構築に向け、高齢者に向けた介護予防の取り組みより前に、壮年期からの健康づくりが大切であるという視点に立ち、介護保険を主管する住民課と健康づくりを所管する健康福祉課との目標や事業実施の共有を図ります。

【今後の取組】

- 今後も高齢化率の上昇が予想されるため、KDB 等を活用し、要支援・要介護の原因疾患になりうる高血圧症や糖尿病のハイリスク者への保健事業に取り組みます。

第5章 計画の推進・評価・見直し等

第5章 計画の推進・評価・見直し等

1 計画の公表・周知

計画の公表は、村ホームページ上で行うとともに、インターネットに対応していない方へも内容を周知できるよう、公共機関に計画書を配布し、被保険者がいつでも閲覧できるようにします。

2 計画の推進体制

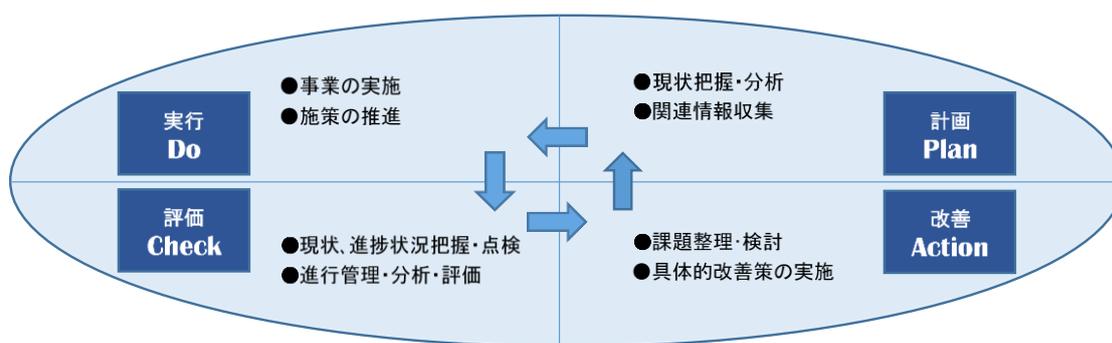
計画の推進にあたっては、当村の医療費の特性や健康課題について地域の医療機関をはじめとした関係団体等と情報を共有し連携を図りながら、計画を円滑に推進し、課題解決に取り組みます。

3 計画の評価

計画の最終年度は平成 35 年度としていますが、各年度の個別保健事業が終了する年度末に評価を行います。これらの評価を踏まえながらPDCAサイクルで翌年度の保健事業を展開し、効率的・効果的な事業展開を図ります。

また、計画を遂行していく中で健康課題の変化等が生じた場合には、計画の目的や目標の見直しを行うとともに、計画の内容等について修正・変更を行います。

なお、法改正や国による指針の見直し、社会情勢等の変化が生じた場合には、必要に応じて計画の見直しを行います。



4 個人情報保護

保健事業で得られる個人情報等の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法律を踏まえた対応を行うとともに、蓬田村個人情報保護条例を遵守し、適切に対応します。

また、保健事業を受託した事業者についても、同様の取り扱いをするとともに、業務によって知り得た情報については守秘義務を徹底し、業務終了後も同様とします。

さらに、個人情報の管理（書類紛失・盗難等）も十分留意するものとし、これらを取り扱う者に対して、その内容の周知を図ります。

5 その他計画策定にあたっての留意事項

データ分析に基づく保険者の特性を踏まえた計画とするため、青森県国民健康保険団体連合会が行う研修に積極的に参加しながら、当村の担当者が事業推進に向けた協議の場を設けます。